

競技注意事項

自然災害や感染症拡大状況等によっては、大会中であっても中止、中断する場合があります。

1, 競技規則について

本大会は、2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項及び競技注意事項、申合せ事項によって実施する。

2, 練習について

練習は係員の指示により実施する。原則として、その日に競技のある選手のみとする。

- (1) 本トラックでの練習は、競技開始30分前まで開放するが、練習はその日の出場選手のみとする。フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で開放するが、競技役員の指示に従って使用すること。
- (2) 直線走路および、バックストレート外側を常時開放する。直線競技実施時には、バックストレートの一部を開放する。雨天走路での練習は、原則すべて禁止する。但し、雨天時の場合は別途指示する。
- (3) 雨天走路での走幅跳の競技中における調整練習は認める。
- (4) 投てき競技種目の練習は、投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は、禁止する。(メディシンボール等も禁止)
- (5) ウォーミングアップの際の本競技場内、及び直線走路の「レーン」等の使用区分、時間割り当てについては、「ウォーミングアップ会場とその形態」に記載の使用方法、使用可能時間を参照。指定されたウォーミングアップ会場において行い、お互いに譲り合って練習すること。

3, 招集及び入退場について

招集所は第1ゲート付近(100mスタート地点横、北器具庫)に設置する。

- (1) 招集時刻
招集時刻は競技開始時刻を基準として下記のとおりとする。
 - ①トラック競技は競技開始の20分前に招集完了とする。ただし、組数の多い予選種目については時間差を設けて招集を行う。詳しくはプログラムの競技日程で確認すること。
 - ②フィールド競技は競技開始の45分前に招集完了とする。ただし、砲丸投は30分前に招集完了、棒高跳びは現地招集とする。
 - ③リレーのオーダー用紙は、招集所で配布する。オーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
 - ④混成競技は、トラック種目20分前、フィールド種目30分前に招集完了とする。四種目全て招集所で招集を行う。
- (2) 招集手順
 - ①招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスとスパイク(シューズ)衣類及び競技場内への持ち込み物品の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。(800m以上のトラック種目は、腰ナンバーを受け取る。返却不要。)
 - ②最終点呼後、各自でトラックのスタート地点、フィールドはピットに移動する。
- (3) 招集の注意事項
 - ①出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係欠場届けを提出する。
 - ②招集完了時刻に遅れた場合、競技者は棄権したものととして処理される。
- (4) 入退場は係員の指示に従う。競技が終了した競技者は、係員から指示されたゲートより競技場外へ退場する。

4, アスリートビブスについて

- (1) 各競技者は、プログラムに記載された番号と同じアスリートビブスをユニフォームの胸部または背部につける。男子は黒字、女子は赤字とする。※規格は、24cm×16cmとなる。
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は背部または背部どちらか片方でもよい。
- (3) 800m以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバー標識(シールタイプ)をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布する。

5, 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震・雷雨等の自然災害やJアラート

発動の際は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。

- (2)トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることができない。フィールド競技は、コーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。
- (3)競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んだり、使用しての助力は許されない。着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器を使用する場合は、他者との通信が使用不可能なものに限る（TR6.4.4）
- (4)トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5)タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して0.001秒単位の時間を判定して進出者を決定する。それでも決められないときは、当該競技者の抽選とする。
- (6)セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
- (7)800m競技予選におけるスタートは、男女ともにオープンスタートで実施する。
- (8)トラック競技は予選タイムレースで決勝進出者を決定する。1500m、3000m、1年100mHはタイムレース決勝とする。1年走幅跳は、3回の試技で順位を決定する。
- (9)リレー競技におけるチーム編成は次の通りである。
 - ①リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。
 - ②どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち、2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
 - ③最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
 - ④交代とは、一度出場した競技者が他の競技者と代わることであり、最初のラウンドにおいてリレーに申し込んでいない競技者が出場する場合は交代とみなさない。
 - ⑤前のラウンドに出場した競技者が一度他の競技者と代わり、再びリレーチームに戻る場合は、新たな交代競技者数には加算しない。
 - ⑥リレー競技においてはチームの出場者はできるだけ同一のユニフォームを着用するものとする。ただし、同色であれば、ランパンとタイツが異なってもよい。
 - ⑦4×100mR競技における第2、第3、第4走者は、自チームで用意する最大50mm×400mmの粘着テープをマーカーとして1ヶ所使用することができる。なお、競技終了後、使用したマーカーは責任を持って取り除くこと。
 - ⑧テイクオーバーゾーンは30mとし、次走者のスタートはゾーン内からスタートしなければいけない。
- (10)フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
- (11)走幅跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
- (12)棒高跳に出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (13)混成競技では1種目でもスタートしなかったか、また、1回でも試技をしなかったときは、それ以降の種目に参加することは許されず、競技を棄権したものとみなされる。
- (14)各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った選手が失格となる。スタートの合図については英語で行う。※スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。

6, 男子1年100mHの規格

(高校女子と同じ規格) ハードルの高さ 0.840m ハードル間の距離 8.50m

7, 走高跳, 棒高跳決勝におけるバーの上げ方について

種目	性別	競技	練習
走高跳	男	1m35-1m40 - 45 - 50 - 55・・・以上3cmきざみ	1m30
	女	1m20-1m25 - 30 - 35 - 40・・・以上3cmきざみ	1m15
四種走高跳	男	1m30-1m35 - 40 - 45・・・以上3cmきざみ	1m25
	女	1m15-1m20 - 25 - 30・・・以上3cmきざみ	1m10
棒高跳	男	1m80-1m95 - 2m10 - ...以上10cmきざみ	1m70
			2m50

	女	1m30-1m40-1m50-1m60・・・以上10cmきざみ	1m20 1m80
--	---	---------------------------------	--------------

- (1) 天候その他の関係で変更するときがある。
- (2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm刻みとする。

8, スパイク (シューズ) の制限

- (1) 本競技場におけるスパイクピンの数は11本以内とする。また、スパイクピンの長さは9mm以内とする。走高跳については12mm以内とし、先端の直径は4mm以内でなければならない。
- (2) WA承認リストにあるシューズを使用していることを前提に招集所にてソールの厚さチェックは不要となる。ただし、審判や審判長の権限により求められた場合はチェックを受ける。TR5.13.3(国内TR5.2)承認リストにない場合は事前申請が必要であるが、中学生の大会では事前申請は不要。
- (3) フィールド競技用シューズのTR5.5適応除外措置について
市販されているフィールド競技用シューズについては適応除外となる。また、砲丸投は、スローイングシューズ以外のシューズの使用も認める。

9, 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 次のラウンドが行われる競技種目では、その結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- (3) 裁定に不服の場合は委託金(1万円)を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。委託金は、抗議が認められない場合は没収される。

10, 学校対抗得点について

- (1) 決勝8位までに得点を与える。1位8点、2位7点・・・8位1点とする。
- (2) 学校対抗は男女別とし、それぞれの合計得点で多い順に順位を決定する。ただし、地域スポーツクラブは、表彰の対象外とする。
- (3) 1位が同点の場合は優勝種目の多い方を1位とする。それ以外の同点の場合は、同順位とする。
- (4) 男女1年100mHと男女走幅跳は学校対抗得点に含まない。ただし、8位まで賞状を授与する。

11, 表彰について

各種目の8位まで賞状を授与する。個人、総合とも8位まで表彰する。決勝終了後ただちに入賞者は、表彰者控え場所に集合すること。※アナウンスによる表彰式は行わないが、表彰台の上で賞状を授与する。
表彰の際は、ユニフォーム不可。ウェアを着用すること。

12, その他

- (1) 各学校ごとに引率顧問と選手は、ADカードを作成し、持参すること。競技場内(招集所、スタンドも含む)へ入場する際は、ADカードを携帯すること。
- (2) 応急処置、その他の健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡すること。救護本部は雨天走路に設置する。応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 商標などの規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守すること。これに違反した場合は、主催者で処理する。
- (4) 応援について
 - ① 集団応援は他の競技の支障のないように行う。特に、フィールド競技の進行に配慮する。
 - ② 集団応援は、メインスタンドでは禁止とする。芝スタンドでは、通路を空けて実施すること。なお、手すりによりかかったりしないこと。
- (5) 応援横幕・のぼりの設置は、メインスタンド最上段、バックスタンドとサイドスタンド最上部のみ可とする。
- (6) 室内走路雨天走路の利用は、原則禁止とする。雨天時は、追って指示する。また、室内走路および通路、更衣室に敷物等を利用し、場所を確保して待機場所として利用することを禁止する。
- (7) ゴミは、原則として各校で持ち帰ること。
- (8) 中学生らしくない身だしなみ(頭髪の染色、髪型、化粧、刺青、アクセサリー等)の選手の出場は認めない。

選手集合場所並びに選手導線について

